



**2019年3月1日(金) ~**

**2019年3月21日(木) の活動**

## ○ 第26回北陸地域懇話会

3月1日(金) 金沢市

第26回北陸地域懇話会を金沢ニューグランドホテルで開催し、国土交通省からは吉岡北陸地方整備局長、板崎北陸信越運輸局長をはじめ19名、当会からは久和会長をはじめ36名が出席した。

久和会長は挨拶で、北陸新幹線について、2030年頃までの大阪までの全線整備を訴えた。また、環境アセスメントを迅速に行えば、2022年度中の事業認可、着工が可能であるとの見解を述べた。

話題提供では、光野社会基盤整備委員長が「社会インフラ整備」、庄田広域観光推進副委員長が「広域観光推進」について、北経連の取り組みを紹介した。国交省からは、北陸各地の社会インフラ整備状況や地域観光推進等に関する施策の紹介等があった。

自由懇談では、「北陸新幹線の大阪までの早期開業」「ミッシングリンク解消および事故・渋滞緩和にむけた道路整備」「建設業界における人手不足対策・生産性向上」「防災減災、物流の強化について」「Society5.0の実現に向けた取り組みについて」「広域観光の振興」などについて、活発な意見交換が行われた。  
(担当:橋本)

## ○ Society 5.0 for SDGs フォーラム in 北陸

3月4日(月) 富山市

経団連の提唱する新たな社会像「Society5.0 for SDGs」の普及を目的として「Society5.0 for SDGs フォーラム in 北陸」(経団連、北経連共催)を富山県民会館で開催し、会員他110人が出席した。

フォーラムでは久和会長、経団連浅野審議員会副議長(箔一会長)の挨拶の後、経団連の提言「Society5.0—ともに創造する未来—」の策定に参画された経団連篠原弘道審議員会副議長(日本電信電話会長)に講演いただいた。

篠原氏はデジタル革新と人々の創造力の融合によって社会課題を解決し、価値を創造する社会「Society5.0」達成のための具体例に触れ、経団連もSociety5.0実現の旗振り役として日本経済の改革を主導していくと強調された。

このほか、北陸でのSociety5.0、SDGsへの取組事例として金沢工業大学平本SDGs推進センター長、コマニー塚本常務執行役員、富山市東福環境政策課課長代理に発表いただいた。

最後に稲垣副会長に総括として発言いただいた。  
(担当:小林)

## ○ 北陸三県修学旅行フェア

3月4日(月) 東京都

北陸三県とJR西日本金沢支社、当会で作る「北陸三県修学旅行誘致推進プロジェクト」は、都内(ホテルポリティエ・モント)で首都圏からの修学旅行を呼び込もうと旅行会社向け説明会を開催し、旅行会社から65名、北陸三県からは関係者等170名が出席した。

これまで北陸新幹線金沢開業を契機に三県が協力して、旅行会社への働きかけ、現地視察会、観光素材説明会などに取り組んできた。

第1部では、主催者挨拶・来賓挨拶(公益財団法人日本修学旅行協会理事長竹内秀一様、公益財団法人全国修学旅行研究会理事長岩瀬正司様)の後、三県合同でプレゼンテーションを行い、北陸新幹線と2次交通の利便性や宿泊施設及び一押し観光素材を各県が発表。また、JR東日本からは2019年度より開始される北陸新幹線連合体輸送のお得な料金体系の説明がなされ、その後、旅行会社と地元関係者による商談会が行われ、熱気に溢れていた。

第2部の懇親会では、当会東京事務所長越村繁からの開会挨拶、㈱日本旅行営業企画本部教育旅行部チーフマネージャー大鹿和彦様の乾杯でスタートし、関係者は、北陸の食も楽しみながら活発な意見交換が行われた。  
(担当:狩野)

※ 当連合会では、新規会員を募っております。会員の皆様にはお知り合いの方に広くお声をかけていただき、ご紹介を賜れば幸いです。(TEL076-232-0472)

## 北陸物語 Facebookのご案内

北陸経済連合会と北陸イメージアップ推進会議は「北陸物語 Facebook」を通じて北陸の魅力の情報発信を行っております。是非ご覧ください。

<https://www.facebook.com/hokuriku.monogatari>

## ○ 会員懇談会（石川会場）

3月6日(水)

金沢市

平成30年度会員懇談会(石川会場)を金沢ニューグランドホテルにおいて開催し、会員80名が出席した。

懇談会では、久和会長の挨拶の後、「北陸地域のベンチャー振興について」をテーマに講演会を開催した。最初に慶應義塾大学先端生命科学研究所以長富田勝氏より「脱優等生が創るニッポンの未来」と題して、山形県鶴岡市における同研究所を中心としたベンチャー振興事例についてご講演いただいた。

次に、財務省北陸財務局総務管理官柳町勝彦氏より「北陸地域経済活性化に向けた財務局の取組み」、(公財)石川県産業創出支援機構経営支援部新事業支援課長櫻井邦彦氏より「石川県(ISICO)におけるベンチャー起業支援の取組み」と題して、ベンチャー振興を支援する組織の取組みを紹介していただいた。

その後、石川で活躍するベンチャー企業として、(株)バイオセラピー開発研究センター代表取締役豊田剛史氏および(株)キュービクス代表取締役社長丹野博氏より起業の目的や事業内容について講演が行われた。

講演会後、交流会を開催し、各講師にも出席いただき盛会裡に閉会した。(担当:平田)

## ○ 農商工連携講演会

3月13日(水)

金沢市

「スマート農業による農商工連携の可能性」と題し、ANAクラウンプラザホテル金沢において講演会を開催し、北経連会員等40名が出席した。

まず、農業ジャーナリストの窪田新之助氏に「スマート農業とその先にあるもの」と題し、今後大量離農が想定される中で、全国各地でのスマート農業への取組事例を紹介し、農業の将来像について講演いただいた。

次に石川県立大学瀧本裕士教授に「マイクロ水力発電を利用したイチゴハウス栽培システムの構築」と題し、白山市でのマイクロ水力発電を利用したイチゴ栽培について講演いただいた。

最後に石川県立大学熊谷学長に講評をいただいた。(担当:小林)

## ○ 平成30年度第2回 広域観光推進委員会

3月18日(月)

金沢市

金沢ニューグランドホテルにおいて、「平成30年度第2回広域観光推進委員会」が開催され、加藤委員長をはじめ13名が出席した。

加藤委員長挨拶の後、「平成30年度事業計画の実施状況と評価・方向性」及び「平成31年度事業計画(案)」について審議し、了承された。

各委員からは、「大学生観光まちづくりコンテスト継続の意義」などの質疑がなされ、「関西方面での取り組みの強化」「北陸三県が一体となった取組みを行う必要性」「航空・JR・バス業界が一体となった周遊観光の取り組みの必要性」「インスタグラムの活用」「福井県のインバウンドを促進すること」など多岐にわたる意見が出されるなど、活発な意見が交わされた。(担当:狩野)

## ○ 北陸産学連携交流会

3月18日(月)

金沢市

「北陸地域が一体となった産学連携の具体策を考える」をテーマに、ANAクラウンプラザホテル金沢において北陸産学連携交流会を開催した。

主要会員企業の研究開発部門等責任者16名、大学の産学連携部門責任者14名、金融機関4名が参加した。

まず北陸先端科学技術大学院大学の寺野総括理事副学長から「Matching HUBをベースとした産学官交流について」と題して報告をいただき、北陸先端大が取り組む広域的な連携活動について認識を深めた。

その後、参加者による自由意見交換が行われ、大学の相談窓口、大学シーズ・企業ニーズの把握、マッチングから共同研究、大学の「敷居の高さ」などの課題について活発な議論がなされた。

事務局としては今後もこのような大学・企業の実務者による意見・情報交換の場を設定していきたい。(担当:木戸)

**ホームページをご覧ください!**

<http://www.hokkeiren.gr.jp/>

## 北陸シェアトップ150のご案内

北陸経済連合会では、北陸地域において、世界または日本国内で高いシェアを誇る製品を紹介した「シェアトップ150」を発刊しています。本冊子は北陸地域(富山県、石川県、福井県)のものづくり企業の、世界または日本国内で高いシェアを誇る155製品(122社)を紹介しております。本冊子を通じて、北陸の優れた製品、技術について認識を深めていただき、北陸地域の産業活性化に資するよう、PR資料として活用しております。是非ご覧ください。

<http://www.hokkeiren.gr.jp/news/data/cd06810fdf02a7d39b58715283467b97.pdf>

冊子版を希望される方は事務局までお問い合わせください。